

令和7年度事業の進捗状況について

資料1

	研修会、補助金・負担金事業等	その他	手話奉仕員育成事業	福祉の担い手育成事業 (高齢者疑似体験・障がい者交流体験)	元気シニアボランティア事業	
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・R7年度公益活動支援補助金応募団体募集(3/1～) ・R7年度公益活動団体協働提案負担金事業開始 ・7 公益活動支援補助金応募〆切 	<ul style="list-style-type: none"> ・4 桜まつり期間中の車いすの無料貸出(日和山公園)(～15) <p>車いす貸出 10件 貸出ボランティア 22名 ※雨天のため7日間中止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・手話奉仕員養成講座 受講生募集(3/1～) ・8 手話奉仕員養成講座 開講式(全40回) <p>申込者 24名 *前年 23名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・23 小中学校の意向調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・1 登録者募集開始 対象地区:全地区 活動対象地区:琢成、松陵、浜田、若浜、亀ヶ崎、松原、港南、富士見、泉、新堀、広野、黒森、十坂、浜中、宮野浦、鳥海、西荒瀬、平田、一條、八幡、松山、南平田、田沢 <p>登録者 93名 *前年 76名</p>	
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・夏のボランティア体験協力団体募集 ・26 公益活動支援補助金審査会 <p>団体育成型3団体申請(1団体辞退)→2団体採択</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・14 いいいろいろ展(障がい者アート展)全体説明会 	<ul style="list-style-type: none"> ・1 ステップアップ講座 受講生募集 	<ul style="list-style-type: none"> ・意向調査まとめ ・16 顔合わせ会 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規登録者と受入事業所との活動内容のマッチング(～2月) 	
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・公益活動支援補助金事業の視察など(～3月予定) ・R7年度公益活動団体協働提案負担金 団体提案型テーマ募集 行政提案型テーマ提示 	<ul style="list-style-type: none"> ・1 いいいろいろ展作品募集 ・18 いいいろいろ展 第1回相談会 ・25 いいいろいろ展作品募集〆切 	<ul style="list-style-type: none"> ・6 ステップアップ講座 開講式(全20回) ・全国手話検定試験の呼びかけ <p>参加者 9名 *前年 8名</p> <p>受験者数は個人申込可のため把握できず</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意向のあった学校にて事業開始 <p>【高齢者疑似体験事業】 実施校7校(小学校) 生徒数11クラス 250名 実施日数9日 活動したボランティア数7名</p> <p>【障がい者交流体験事業】 実施校1校(中学校) 生徒数1年生 6名</p>	<ul style="list-style-type: none"> *前年3校(小学校1 中学校2) *前年12クラス 331名 *前年7日 *前年5名 ※他に疑似体験の申込み小学校6校、災害VC対応のため中止。 *前年2校(小学校2) *前年2クラス 40名 	
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・夏のボランティア体験参加者募集 ・22～26、28～31 夏のボランティア体験事前説明(14回 119名) ・26 夏のボランティア体験(～8/30) ・30 公益活動団体協働提案負担金応募〆切 	<p>参加者(申込)128名 ※学習会を含む(学習会のみ8名) *前年101名 受入れ協力団体 50団体(52プログラム) *前年48団体(48プログラム)</p>				
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・18 ボランティアコーディネーションカ3級検定事前学習会 <p>参加者 18名(検定申込者は20名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・20 いいいろいろ展 第2回相談会 				
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・21 ボランティアコーディネーションカ3級検定 直前研修、検定試験 ・29 ボランティアコーディネーションカ3級検定事後学習会 <p>受験者 19名 *前年 24名</p> <p>参加者 11名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・9 地域福祉センター(社協)防災訓練 ・11 災害ボランティアセンター研修会① ・17 いいいろいろ展作品搬入、展示(～18) ・19 いいいろいろ展(出羽遊心館)(～25) ・26 いいいろいろ展作品搬出 	<p>来場者 1,042名 ※期間中、来場者参加型企画(缶バツアプレット)等のイベント、物販あり *前年 延べ717名 受付ボランティア協力者 17名 *前年 20名 参加団体 19団体 *前年 20団体 作品数 154点 *前年 155点</p>			

	研修会、補助金・負担金事業等	その他	手話奉仕員育成事業	福祉の担い手育成事業 (高齢者疑似体験・障がい者交流体験)	元気シニアボランティア事業
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・20 R8年度公益活動団体協働提案負担金の審査(ボランティア・公益活動推進委員会の中で開催) 補助金募集時期見直し協議(委員会) 	<ul style="list-style-type: none"> 団体提案型1団体 行政提案型2団体申請 →3団体採択 		<ul style="list-style-type: none"> ・上期まとめ、交通費支払 	
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・17 NPO・市民活動なんでも相談会①(NPO法人やまがた絆の架け橋ネットワークとの共催) 	<ul style="list-style-type: none"> ・29 災害ボランティアセンター研修会② 	<ul style="list-style-type: none"> ・14 ステップアップ講座 閉講式 		
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・6 酒田市子ども食堂エピソード共有公開ワークショップ(認定NPO法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ後援・協力) ・12 NPO・市民活動の立ち上げと法人化講座(NPO法人やまがた絆の架け橋ネットワークとの共催) ・13 NPO法人の解散の方法講座(NPO法人やまがた絆の架け橋ネットワークとの共催) ・16 NPO・市民活動なんでも相談会②(NPO法人やまがた絆の架け橋ネットワークとの共催) 	<ul style="list-style-type: none"> 参加者 42名 参加者 10名(3団体) 参加者 3名(2団体) 参加者 9名(2団体) 			
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・「ボラポートさかた登録団体・個人会員の紹介ブックレット」発行 ・16 助成金紹介講座(NPO法人やまがた絆の架け橋ネットワークとの共催) ・22 NPO・市民活動なんでも相談会③(NPO法人やまがた絆の架け橋ネットワークとの共催) 	<ul style="list-style-type: none"> ・24 日向ささえあい除雪ボランティア① 	<ul style="list-style-type: none"> ・20 手話奉仕員養成講座打合せ 		
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・8 NPO・市民活動の人とお金の増やし方講座(NPO法人やまがた絆の架け橋ネットワークとの共催) ・16 NPO・市民活動なんでも相談会④(NPO法人やまがた絆の架け橋ネットワークとの共催) ・21 公益活動支援補助制度説明会、ボランティア・市民活動交流会 	<ul style="list-style-type: none"> ・14 日向ささえあい除雪ボランティア② 	<ul style="list-style-type: none"> ・24 手話奉仕員養成講座 閉講式 		
3月			<ul style="list-style-type: none"> ・1 手話奉仕員養成講座参加者募集開始 ・16 ステップアップ講座打合せ 	<ul style="list-style-type: none"> ・下期まとめ、交通費支払 	<ul style="list-style-type: none"> ・3~4 ポイント変換、次年度登録手続き ・17~18 商品交換

通年	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア・市民活動などに関する相談、活動紹介
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信(ホームページ、登録者への情報送信、Instagramなど) ・ボラポートさかた通信発行(9回) ・ボランティア活動保険受付など

【参考】登録団体等の状況 ※令和7年12月末現在

登録団体(個人会員含む)		メール会員			FAX会員	インスタ フォロワー数
令和6年度末	令和7年12月末	個人	団体	合計		
134	131					
新規登録 5	新規登録 0	228	61	289	2	236
登録解除 9	登録解除 3					

(5,464人) (5,194人)

令和7年度 ボランティア・公益活動施策 今年度進捗報告および来年度活動計画 (案)

令和7年度 ボラポートさかた主要事業進捗

- ・ R7公益活動支援補助金 実施：2事業（申請3⇒辞退1）
- ・ R7公益活動団体協働提案負担金実施 実施：2事業
- ・ R8公益活動団体協働提案負担金募集 採択：3事業（申請：3事業）
- ・ 各種研修会（夏ボラ、交流会、共催講座・相談会等）
- ・ 夏のボランティア体験 7/26～8/30 参加者：122名(延204名) 受入：50団体(52x1-)
- ・ 交流会 R8.2/21（土）開催予定
- ・ 酒田市手話奉仕員育成事業 養成講座受講者：24名 ステップアップ講座受講者：9名
- ・ 福祉の担い手育成事業
 - 高齢者疑似体験：7校（小学校） 障がい者交流体験：1校（中学校）
- ・ 酒田市元気シニアボランティア事業 登録者：93名
- ・ 障がい者アート展（酒田市文化芸術推進事業） 9/19～25 来場者：1,042名

令和7年度実施 特記事項

①公益活動支援補助金に関する変更および実績

- ・ 令和7年度に以下の変更を実施したが、申請件数は増加せず。
- ⇒ 令和8年度は申請しやすい募集時期に変更し、申請件数の増加を図る。
- （変更点）・ 人件費の一部を補助対象に追加（補助対象経費の3割まで）
- ・ 審査件数によらず、最大50分間で全体で意見交換する方式に変更。

	R3	R4	R5	R6	R7(実施中)
補助件数	8件	9件	3件	4件	2件
補助金額	1,036千円	1,139千円	415千円	486千円	253千円

②酒田市子ども食堂エピソード共有公開ワークショップの開催

- ・ ボランティアや公益活動への関心と参画の拡大を目的として、子ども食堂を題材としたワークショップを開催。
- ・ ボランティア団体や学生、企業など42名が参加し、約4割が子ども食堂に関わったことのない方だった。
- 子ども食堂の意義を再確認でき、アンケートでは8割の方から子ども食堂に関わりたい旨の回答をいただいた。
- 日時：令和7年12月6日（土）10：00-12：00 会場：勤労者福祉センター 3Fホール
- 内容：運営者によるエピソードトーク紹介、気づきや感想のグループトーク、ボランティアアクション紹介
- 主催：共生社会課、酒田市ボランティア・公益活動センター（ボラポートさかた）
- 後援・協力：認定NPO法人 全国子ども食堂支援センター・むすびえ

③登録団体の寄付・ボランティア募集のリストアップおよび公開

- ・ ボラポートさかた登録団体を対象に、寄付や資材の提供、ボランティア募集などの希望を調査。
- ・ 現時点で回答があった3団体をリスト化し、ボラポートさかたホームページで発信。
- ・ まだまだ少ないので、毎年度調査し、リストを充実化していく予定。

令和8年度 新たな取り組み (案)

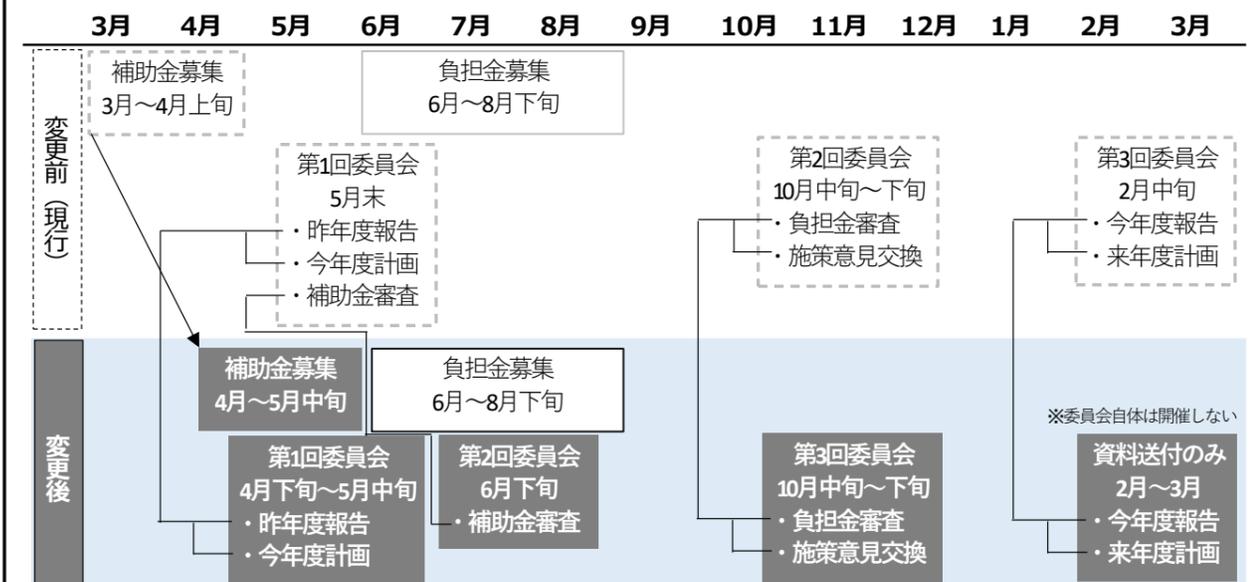
①補助金募集時期の変更および推進委員会の開催時期の変更

○補助金募集時期

これまでの募集期間（3月～4月上旬）は団体の繁忙期などと重なり申請が難しいことが考えられるため、**4月～5月中旬に募集期間を変更する**。また、審査後の交付決定前に支出した費用についても、補助対象となるよう制度を変更する。（事業自体が完了しているものは対象外）

○委員会開催時期

募集時期の変更に伴い審査時期もずれ込むことから、**委員会の開催時期も変更する**。



②酒田コミュニティ財団との連携の検討

＜酒田コミュニティ財団とは＞（酒田コミュニティ財団公式HP参照）

- ・ 令和7年11月に（一財）酒田コミュニティ財団が設立。団体の目的は「若者が社会課題を解決する挑戦を市民が支える仕組みを作り、酒田を魅力的で活力あるまちにする」こと。
- ・ コミュニティをよりよくするプロジェクトを実施したい人と、それを支援したい人をつなぎ、寄付金を活用した基金を設置・運用し、資金仲介を行う。プロジェクトの伴走支援も実施予定。

＜連携理由＞

- ・ 当財団は、若者の地元に対する愛着の醸成や活動の促進を目指し、若者とまちのために活動する大人の団体を引き合わせたい意向。
- ⇒ **若者とボランティア・公益活動団体の交流機会を創出**することで、団体の活動の周知や活発化が期待されるため、酒田コミュニティ財団と連携した交流機会の創出を検討していきたい。